



企業の人づくりと、地域の森づくり。
その両方が、ひとつの取組で動き出す。

あなたの地域の 森で何が できるだろう？

森林空間利用を
“企業とつながる事業”にしていくための実践ガイド



はじめに

森林は、空気や水を育み、災害を防ぎ、保健・レクリエーションの場を提供するなど様々な恩恵をもたらしてくれます。林野庁では、山村地域の活性化を図るため、こういった森林の生態系サービスの提供・活用により、人と森林の関係を深めるとともに、林業と相まって森林所有者に利益を生み出し、豊かな森林づくりにつなげる「森業(もりぎょう)」の推進に取り組んでいます。

近年、人的資本経営や社員のウェルビーイングへの関心が高まる中、豊かな森林空間を活用した体験プログラム(森のプログラム)を社員研修などに活用する企業が増えています。このような企業等のニーズを捉え、森のプログラムを展開することは、山村地域の活性化につながる事が期待できます。

本冊子では、企業を対象としたプログラムを展開している各地域での体制づくりや企業向けプログラムを構築するまでの流れなどを紹介しています。「自分たちの地域では何ができるのか」「企業とどのような連携が考えられるのか」を具体的に思い描き、次の一歩へとつなげていただけることを期待しています。

はじめに/目次	2
森業の推進	3
導入のメリットと考え方	
企業連携について	4-5
各地の森林空間利用の取組紹介	6-17
上山市/長野原町/南丹市/西栗倉村/安芸太田町	
森のプログラムづくりの考え方	18
これからの森業	19

「森業(もりぎょう)」の推進

近年、都市住民や企業からの森林への関心の高まりから、森林を通じて地域と人・企業がつながる機会が増えています。森業(もりぎょう)とは、森林が持つレクリエーションや環境保全といった多様な価値を活用して、都市部の人や企業を呼び込み、地域の活性化や豊かな森林づくりにつなげる取組です。



森業には、森林と人や地域をつなぐ様々な取組が含まれます。その中の一つが、森林空間を活用して様々な体験プログラムを提供する「森林サービス産業」です。

森を“多面的に活かす”ための考え方

森林空間利用は、高付加価値のサービスとして収益化することで、森林や地域を持続的に維持していく手段となります。高付加価値サービスとは、幅広い年齢層やライフステージにおいて、仕事や学びといったワークの場面から、暮らしや余暇といったライフの場面まで、森林空間を活用することで生まれるものです。その鍵となるのは、地域にすでにあるサービスや既存事業といった様々な活動を、森を舞台にどう組み合わせ、新たな価値を生み出していくかという視点です。



森林空間利用に取り組むメリット

山林管理から、開かれた事業へ 岡山県 西栗倉村

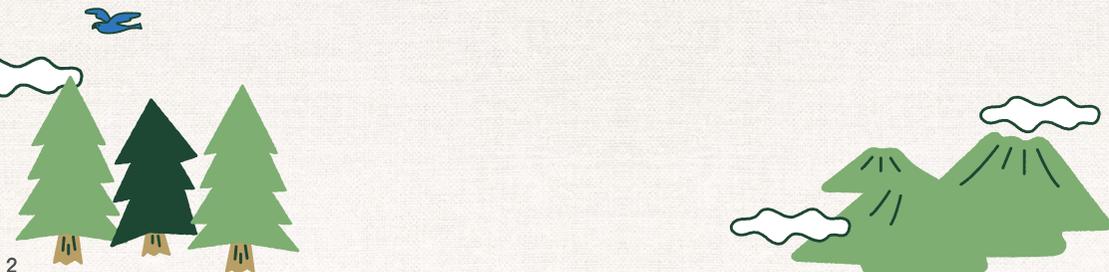
「村内で完結しがちだった山林管理が、地域外や異分野とつながる“開かれた事業”へと広がりました。これからの山づくりには、こうした広い視野と外とのつながりが欠かせないと感じています。」

地域の森で、人と人のつながりが生まれる 広島県 安芸太田町

「企業が社員の健康や関係性を真剣に考える姿勢に触れることで、多くの学びと刺激を得ています。森林を通じた『地域と企業』、『人と人』との出会いとつながりを、これからも大切にしていきたいと思っています。」

効率化の先にある課題に、地域ができること 山形県 上山市

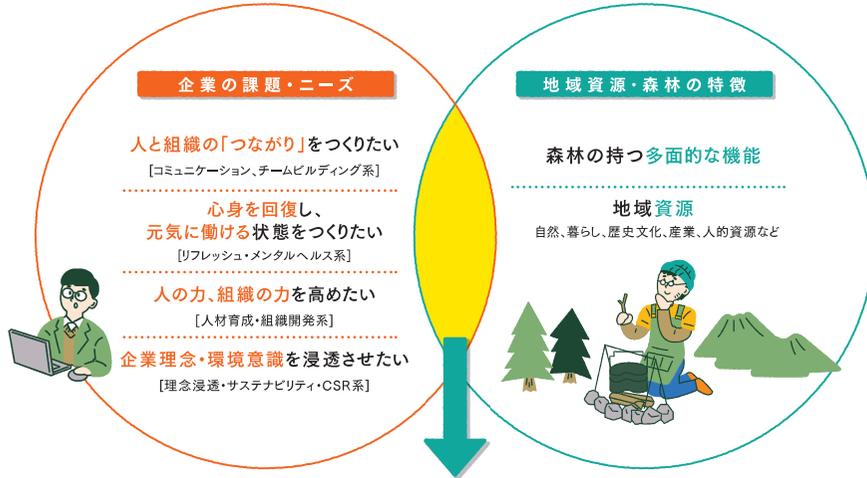
「効率化やスピードが求められる今の社会だからこそ、『非効率な時間』を価値として提供できる森のプログラムには可能性があります。参加者が笑顔で帰り、人を大切にす企業とつながれることは、この分野ならではの成果です。」



森林空間利用が生み出す価値

価値は“企業課題×地域の森林空間”の接点で生まれる

健康・教育・観光など、森林と異分野との連携により新たなサービスが生まれています。
特に、森林空間利用に新たな可能性をもたらしているのが、企業の課題と森林空間をつなぐ取組です。



- 価値を生み出すヒントは 編集力**
- 01 既存のサービスや資源を活かし、地域ならではの特色やストーリーを生み出すことで、企業にとっても「こでしか得られない体験」へとつながります。
 - 02 平日の企業・学校向けサービスと、休日の一般向けサービスを連動させることで、利用の幅が広がり、継続利用や雇用創出にもつながります。例えば、地域の子供向け活動には、対話力や創造性、主体性を育む要素が多く、企業の人材育成にも応用できる可能性があります。
 - 03 地域にとって当たり前の営みや、日々向き合っている課題そのものが、企業にとっては学びや気づきを生む価値になる場合もあります。

POINT

森林空間を活かしたサービスの提供では、
地域の中にある多様な活動や資源を複合的に組み合わせていくことが大切です。
そうすることで、事業は単発の「点」ではなく、広がりのある「面」へと育っていきます。

森が、企業の力に

森を通じてつながることで、企業も地域も活性化する

企業と連携するメリット

地域

企業との連携は、地域に新たな収益機会を生み、持続可能な森林管理や人材育成につながります。
また、観光とは異なる関係人口が生まれ、継続的な関係づくりへと発展していきます。

企業

SDGsへの取組の必要性やVUCAといった不確実性の高い時代への対応という観点から、企業では自律的で共創的な人材・組織づくりが求められています。会議室での研修では変革につながりにくいという背景から、森林という非日常の場を活用した企業研修が目まぐるしく注目を集めています。
企業による森林空間利用は、人材育成と地域・環境への貢献を同時に実現する、新しい森の活用方法です。

企業が森を選ぶ理由

森林という日常から切り離された自然環境は、肩書きや役割を一度リセットし、自分や他者と向き合うきっかけを生み出します。
五感を使った体験や対話を通じて、主体性や関係性の変化が起こりやすく、組織の学びや気づきにつながります。



森で行う研修に期待される効果

企業の抱える課題	自然環境・プログラムの特徴	期待される効果
<ul style="list-style-type: none"> 世代間ギャップ、限定的な人間関係 コミュニケーションの希薄化 ストレス対処、メンタルヘルスへの意識 	<ul style="list-style-type: none"> 組織・業務から離れた非日常の自然環境 ありのままの自分が出やすい自然環境での五感体験 	<ul style="list-style-type: none"> 自由で本質的な対話を行えるフラットな関係性の構築 主体性の涵養によるコミュニケーションの活性化
<ul style="list-style-type: none"> 自律性、他者との協力意識の構築 考える力、創造性の低下 	<ul style="list-style-type: none"> ストレッチゾーンに導く自律的でVUCAな自然環境 総合的で多様性を有する自然に対峙した体験活動 	<ul style="list-style-type: none"> 挑戦心や協力意識の醸成による自律性・リーダーシップの醸成 視点・思考の転換による創造性の涵養、意識変革の促進
<ul style="list-style-type: none"> 自己理解、他者理解の不足 自社事業への理解、エンゲージメント向上 	<ul style="list-style-type: none"> 自然や体験をメタファーにした深い内省・対話 身体感覚記憶・情動記憶を伴う自然環境での共通体験 	<ul style="list-style-type: none"> 自己・他者認識や判断力等の醸成による共創性の涵養、チームビルディング 想起性・学習定着率の向上による行動変容・組織変革の促進

動画「企業×森のプログラム」をチェック!



企業における森のプログラム活用事例集はこちら



POINT

地域にある自然、多様な資源は、
企業が抱える課題に応える力を持っています。
実際に、地域の特性に合わせた形で、企業と地域の連携の可能性は広がっています。